

## 地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものととして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。



日本製鐵株式會社

庶第一、五六七號

昭和十一年十二月廿四日

總務部長 橋本芳雄

作業課長 野本徳市 殿

第六回定時株主總會議事通知ノ件

越般御通知申上候通リ本日當社第六回定時株主總會ヲ開催中并取締役會長議長ト爲リ議案ヲ審議シ左記ノ通り議決相成候間御參考迄此段御通知申上候

追テ第六期營業報告及本總會ニ於ケル取締役會長ノ演說一部別添御送付申上候間御查收相成度候

記

日本製鐵株式會社

第一號

第六期（自昭和十一年四月一日至昭和十一年九月三十日）營業報告書、財產目錄、貸借對照表及損益計算書承認並第六期利益金處分案議決ノ件

第二號

右ハ原案ノ通り異議ナク承認可決ス  
取締役選任ノ件  
右ハ中井勵作氏、中松眞卿氏、景山齊氏、澁澤正雄氏、飯田九州雄氏、子爵井上匡四郎氏、磯村豐太郎氏、渡邊義介氏、米山辰夫氏、吉田豐彦氏、松田貞治郎氏、松本健次郎氏、荒城二郎氏、尾形次郎氏、長崎榮十郎氏及山縣愷介氏ノ十六氏ヲ取締役ニ選任ス

第三號

代表取締役、取締役會長、社長及常務取締役選任ノ件  
右ハ中井勵作氏及中松眞卿氏ヲ代表取締役ニ、中井勵作氏ヲ社長兼取締役會長ニ、中松眞卿氏、景山齊氏、澁澤

日本製鐵株式會社

第四號 前役員ニ對スル慰勞金贈呈ノ件

正雄氏及飯田九州雄氏ノ四氏ヲ常務取締役ニ夫々選任ス  
右ハ前取締役黒田泰造氏、牧田環氏、香村小録氏、男爵  
郷誠之助氏及前常務取締役保倉熊三郎氏ノ五氏ニ對シ慰  
勞金ヲ贈呈スルコトトシ其ノ金額ノ決定竝贈呈方法等ハ  
社長ニ一任スルコトヲ異議ナク可決ス

以 上

茲ニ第六回定時株主總會ヲ開催スルニ當リ、多數株主各位ノ御出席ヲ得マシタコトハ私ノ欣幸ト致ス所デアリマス。此ノ機會ニ於テ我國鐵鋼界ノ近狀ト第六期ニ於ケル當社業務ノ概要ヲ申述ベテ御參考ニ供シタイト存ジマス。

本期間ニ於ケル鐵鋼市況ハ、通觀シテ申シマスレバ、概ネ平穩ナ經路ヲ辿ツテ參リマシタ。前期末ヨリ本期初ニ懸ケマシテハ、原料高ヲ原因トシテ市價昂騰シ、次デ其ノ反動ヲ受ケ一時軟調ヲ呈シマシタガ、其ノ後需給ノ狀態ハ比較的均衡ヲ保ツコトヲ得、從ツテ價格モ概シテ安定シ、大ナル波瀾ナク推移シタデアリマス。然シナガラ鐵鋼ノ需要ハ世界的ニ益々旺盛トナリ、我國ニ於テモ一般ノ需要ハ漸次増進ノ傾向ヲ示シ、期末ニ於テハ市況モ頓ニ活況ヲ呈シテ參リマシタ。將來ニ於テモ我國ノ鐵鋼界ハ益々繁忙ヲ加フルコトト存ジマス。

而シテ昨年十月ヨリ本年九月ニ至ル一箇年間ノ我國鐵鋼ノ生産狀況ニ付テ觀マスルニ、其ノ總生産高ハ、銑鐵ニ在リマシテハ二百十五萬噸、鋼材ニ在リマシテハ四百二十六萬噸ト推算致サレルデアリマシテ、何レモ前一箇年ニ比シ相當ノ増産ヲ示シテ居ルデアリマス。

次ニ本期ニ於ケル當社業績ノ大要ヲ申上ゲマス。熔鑛炉、製鋼、壓延其ノ他生産設備ハ引續キ全能力ヲ擧ゲテ極力生産ニ力メマシタ結果、主ナル生産高ハ銑鐵百二萬噸、鋼材百四萬噸ニ上リマシタ。

各作業所ニ於ケル各種ノ擴張及改良工事ハ、營業報告書ニ記載ノ通り、着々進捗シツツアリマシテ、其ノ竣功ノモノヨリ逐次作業ヲ開始シテ居ルデアリマス。又將來ノ擴張計畫ニ付キマシテハ、之ガ促進ヲ圖リ目下銳意調査中デアリマスガ、其ノ計畫ノ一部ト致シマシテ、先以テ北海道室蘭市ニ銑鐵七十萬噸、鋼材四十萬噸ヲ生産スル工場及八幡製鐵所戸畑工場内ニ最新式ブリキ工場ヲ建設スルコトト致シタイト存ジテ居ル次第デアリマス。

更ニ本期ニ於ケル當社ノ收益狀況ヲ申上ゲマスレバ、收入總額ハ壹億六千四百九拾壹萬圓、支出總額ハ壹億參千四百拾壹萬圓、差引總利益參百五拾萬圓ニ上リ、此ノ内ヨリ固定資産ノ減價償却五百四拾八萬圓ヲ引去リ、純益約貳千八百貳萬圓ヲ擧グルコトヲ得タデアリマス。此ノ利益金ノ處分ハ、株主配當ノ率ヲ前期同様年七分据置ト致シマシテ、殘額ハ諸積立金及後期繰越金トシテ留保致シタイト思ヒマス。左様ナコトニ相成リマスレバ創業以來ノ諸積立金ハ八千六百餘萬圓ニ達スルデアリマス。

終リニ第六期ノ決算書類及利益金處分案其ノ他ノ議案ハ御手許ニ差上ゲテ置キマシタ通りデアリマスカラ、株主各位ニ於カレマシテハ御審議ノ上何卒御承認アランコトヲ希望スル次第デアリマス。

昭和十一年十二月二十四日

取締役會長 中 井 勵 作